

ふたばっ子とともに

R6. 5. 1

令和6年度がスタートして、早いものでひと月が経ちました。

今年度も引き続き双葉小に勤務し、また1年間、ふたばっ子たちの成長する姿を間近で見られることを、大変うれしく思います。

本年度の「校長通信」の第1号を発信します。

これまでのように、双葉小の子供たちの日々の姿や教育活動を捉えて、

- ① 子供たちの成長やがんばりが感じられた瞬間
- ② 子供たちに学んでほしいこと（教職員の思いや願い）
- ③ 保護者や地域の皆様と共有・協力していきたいこと

などを中心にお伝えしながら、この「校長通信」のページを進めていきます。

なお、不定期の発信とはいえ、令和4年度、5年度と2年続けて3月のまとめの号までたどり着けていないことが大きな反省点です。本年度こそは、最後まで子供たちの様子や自身の思いを伝えきろうと考えています。

1年間よろしく願いします。

今回は、職員室の来客対応用窓の前に置いた「小鳥」の話です。

小鳥に「名前」を付けるには？

本校では来校者があった際、職員室の構造上の問題なのですが、柱が邪魔をして職員が来校者に気付きにくいという課題がありました。それを解消するために、昨年度の2月に来客対応用の窓の前に、センサーで人の動きを察知すると鳴き声やメロディーを発する「小鳥」を置きました。

一度、台から落ちて足が破損したため、修繕をするとともに校舎内に吹き込む風から守るための段ボール製の小屋を作成して、再度置き直しました。

その際、右のメッセージカードを小屋に貼り付けました。

ふたばしょう
双葉小のみなさんへ

わたしの名前は、「」です。
(まだ決まっています。だれか名付けてくれませんか。)

わたしの仕事は、お客様が来られたことを、さえずりや歌で職員室の先生方にお知らせすることです。

足をけがしてしまったので、どうかやさしく見守ってください。

よろしく願います。

「 (小鳥)」より

そして、2月9日にある女の子によって「ピーリン」と名付けられました。その後、名前を付けてくれる子が続々と現れました。みんなに名付けた楽しみを感じてほしいので、一つの名前は1日限定。ですから、毎日「小鳥の名前」は、変わっていきます。それぞれに楽しみながら思い思いの名前を付けていますが、時には少しふざけすぎた名前を申し出る子もいます。その子とは話をして「全校のみんなが気持ちよく受け入れられる名前かどうか」や「愛着を感じて呼びたくなる名前かどうか」を考える機会を与えるようにしています。5月1日現在で、すでに6月4日分の名前まで申請されています。ちょっとした有名料理店のような予約状況です。



では、「この小鳥の名前は、どうしたら付けられるのか」。それは、どこにも示していません。それは、次のような理由からです。

双葉小の令和6年度の年間ミッションは、

「やりたいこと」を見つけて、挑戦する

です。これは、本校の「目指す子供像」とリンクしています。

また、この「やりたいこと」を実行するには、「3つの約束」があることを、ミッションと併せて子供たちに伝えてあります。その約束は、

「やりたいこと」をするための3つの約束 やくそく

- ①好きなことをする。
- ②自分から進んでする。
- ③人のためになることをする

です。

- ①好きなことをする。
- ②自分から進んでする。
- ③人のためになることをする。

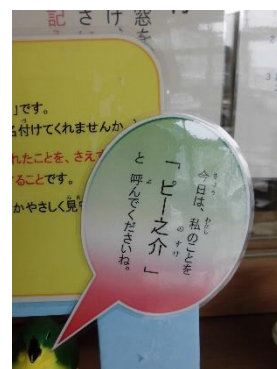
「小鳥に名前を付けたい」とある子が考えたとします。その子は「小鳥に名前を付ける」というのが「やりたいこと」になりました。

では、この後はどうすればよいのでしょうか。次は、自分で考えて動かなければ、何も始まりません。それが、②の約束です。

「どこかに示していないか探してみる」「周りの友達に相談してみる」「先生にたずねてみる」等、何かしらのアクションを起こしてみれば、きっと道が開ける情報がどこからか伝わってくるでしょう。

このように、「〇〇がしたい」と考えたら、その実現に向けて方法を見付けたり、実行への見通しを立てたりするために、自らが何かしらのアクションを起こさなければ、「思った」「考えた」だけで終わってしまいます。

また仮に、思いがけず「名前を付ける」ための方法が分かったとしても、それが、自分の「やりたいこと」と合致しなければ、それは自分にとっては必要ではない情報であり行動には結び付きません。でも「情報を持っている人」として、どこかで誰かの「やりたい」を助ける可能性はあります。



今年度も、双葉小の子供たちが、自分の思いを形にするために、まずは自分自身で一步踏み出すのが大切なのだということに気づき、主体的、積極的に動いていくことを願っています。

「今日の小鳥の名前は何か？」

双葉小へお越しの際は、ぜひ、子供たちが名付けた小鳥の名前にも気を留めていただけたら幸いです。



【タイトルに寄せて】

校長室より発信するたよりは「ふたばっ子とともに」です。

本校では、令和6年度のキーワードも「ともに」と押さえました。

「双葉小学校の子供たちを中心に、それを育て、見守る教職員、保護者や地域の皆様、活動を支えていただく方々…双葉小学校に関わる全ての人と『ともに』新たな時代を築き、明るい未来に向かって『ともに』歩んでいきたい」そんな願いを込めて、このタイトルを付けました。

1年間よろしくお願ひします。